

2020年5月28日

学生・保護者の皆さまへ

神戸親和女子大学

本学のオンライン授業および機器環境支援の取り組みについて(経過報告)

ご案内のように、本学では4月27日の春学期開始時点からオンライン授業を行ってきました。この報告では、これまでの本学のオンライン授業への取り組みの経過報告とともに、全ての学生のみなさんがオンラインで授業を受けられることを目的として実施してきた本学の機器環境支援についての報告をいたします。

本報告は次の構成となっています。

- ① オンライン授業の取り組みの経過報告
- ② 第2回機器環境調査の概要と結果
- ③ 機器環境整備支援についての報告
- ④ 一年生満足度調査の結果(入学後の満足度の変化)

③で報告している機器環境支援について検討するために、学生の皆さんのパソコンやインターネット環境についての調査を二度実施しました(4月2日から、および4月28日から)。②では、第二回目の調査結果を報告します。また、④では、新入生の本学への満足度調査の結果から、入学してからの満足の変化をご紹介します。今年の一年生は、大変残念なことに、本学に入学してからオンラインでしか授業を受けられていないのですが、それにも関わらず高い満足度を示しており、オンラインでの様々な学習支援が学生のみなさんに良い形で届いているのではないかと思います。

① オンライン授業の取り組みの経過報告

【初動】

3月30日 遠隔授業ワーキンググループ設置

4月2日 オンライン授業開始決定・方針検討開始

4月2日 機器環境調査開始(1回目)

4月6日 オンライン授業決定周知(学生)

4月9日,10日,11日,13日 教員研修(各2時間, 述べ8時間)

教員向けマニュアル配布(大学方針周知、ツール操作、授業設計、著作権)

4月12日 学生向けマニュアル(動画)配信開始

「オンライン授業のガイド」

「Teamsによる授業の受け方」

「ZOOMの使い方」

【準備・練習期間】

4月13日～24日 オンライン授業準備・練習期間

ZOOM 接続練習・テスト(全教員・全学生)

Teams 課題提示・提出練習・テスト

サポートコミュニティの開設

4月21日 オンライン授業を受けるためのパソコンの推奨スペック、購入ガイドを配布

【授業開始とオンライン授業の質の向上】

4月27日 授業開始

4月28日 機器環境調査(2回目)開始

5月16日、20日 教員研修(2回目)(各2時間、述べ4時間)

①-1. 初動 オンライン授業の決定、教員研修、学生へのガイドの配信

本学では、3月30日にオンライン授業の検討・推進を行う「遠隔授業ワーキンググループ」が、学長を座長として、学長室、教務担当および学習教育総合センターの教職員によって組まれました。4月2日に春学期をオンライン授業で始める決定を行い、今後の方針の策定を開始しました。4月6日、すでに緊急事態宣言の発動が見込まれていたため、Shinwa SmileNet において学生へのオンライン授業決定の周知を行いました。この時期、対面での健康診断や履修相談については中止とし、履修相談についてはオンラインでの情報提供・相談を実施しました。

オンライン授業の実施に先立ち、非常勤教員・常勤教員全員を対象として述べ8時間の研修を実施しました。研修では、オンライン授業の大学全体としての方針をはじめ、オンライン授業の授業づくりやシステムの操作、オンライン授業における著作権などについての内容を学びました。教員向けの「オンラインで授業/学習支援をするためのガイド」を配布するとともに、オンライン授業で利用するシステムであるマイクロソフト Teams のマニュアルを配布しました。

4月12日には、全学生を対象として、文書および説明動画のセットで「オンライン授業のガイド」を配布して本学のオンライン授業の方針や今後の予定をお知らせするとともに、「Teams による授業の受け方」「ZOOM の使い方」を配布してオンライン授業を受けるために必要な情報提供を始め、Shinwa SmileNet とともに各ゼミ担当教員から直接学生の皆さんに周知をしました。

一方で、オンライン授業の運営方法や機器環境について必要な支援を検討するために、4月2日に第一回目の機器環境調査を実施しました。

【本学のオンライン授業の方針】

週一回の演習、いわゆるゼミについては ZOOM を用いた同時双方向型(ライブ型)の授業を実施し、ゼミ以外の一般の授業ではシステム(MS Teams)にアップロードされた教材や資料を用いて行うオンデマンド型の授業を実施することとしました。

①-2. 準備・練習期間 4月13日～4月24日

4月27日の授業開始日からスムーズにオンライン授業が受けられるように、4月13日～24日を準備・練習期間と位置づけて、演習(ゼミ)を中心に、テレビ会議システム ZOOM の接続テストを兼ねた近況確認、オンデマンド型システム MS Teams による課題提出の練習をすべての学生と常勤教員を対象に実施しました。全教員が、これまで対面向けに準備していた授業をすべてオンライン授業向けに再構成し、配布資料等の準備を行いました。

サポートコミュニティの開設

各教員が円滑に学生のみなさんに授業ができるように、全教員向けに遠隔授業の支援コミュニティをオンラインに開設しました。学習教育総合センターおよび教務に所属する教職員を中心に、学内のさまざまな問い合わせや相談を支援しつつ、オンライン授業の準備でつまづいている学生のみなさんの個別支援の提供を始めました。

①-3. 授業開始とオンライン授業の質向上の取り組み

4月27日にオンライン授業を開始。一週目は遠隔授業の支援コミュニティを相談窓口として午前9:00～深夜まで教職員および学生への支援を提供。

機器環境についての実態把握とさらなる支援の提供のため、第二回目の機器環境調査を4月28日に開始。

対面授業と同質の授業の提供を目指して、非常勤・常勤全教員を対象に2回目の教員研修を行い、学習支援の充実、動画などのメディアの充実、双方向性の充実をテーマに各2時間ずつ学びを深めました。

② 調査の概要と結果

調査開始日 2020年4月28日(火) 集計日:2020年5月10日(日)

目的: 家庭・下宿の通信環境、パソコン所持の有無を明らかにする。機器環境支援の検討とオンライン授業運営に利用する。

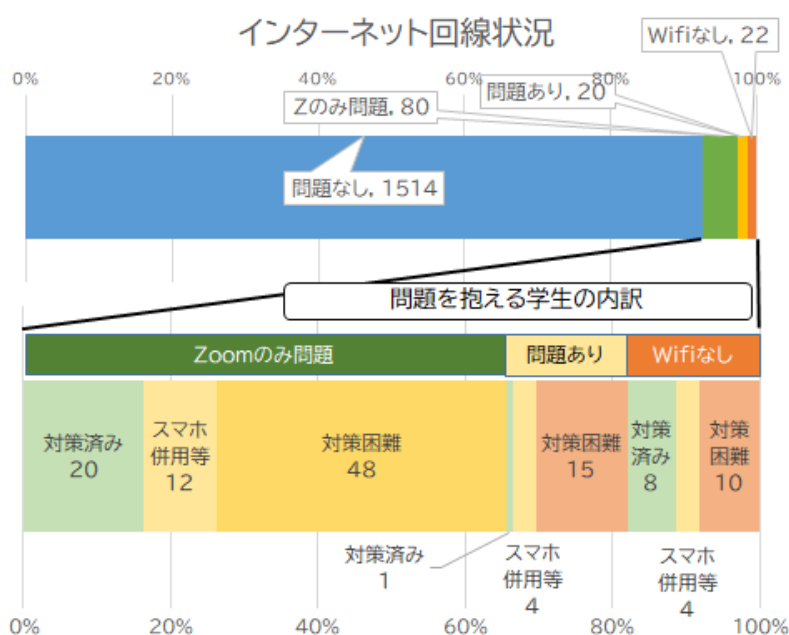
方法: オンラインで実施

1. 回答状況 (大学院生を含む)

1 回答率(年次別)

	回答者数	学生数	回答率
1年次	409	414	98.8%
2年次	360	368	97.8%
3年次	400	419	95.5%
4年次	468	487	96.1%
学部計	1637	1688	97.0%
大学院	28	60	46.7%
総計	1665	1748	95.3%

2. 通信環境に関する集計 (大学院生を含まない)



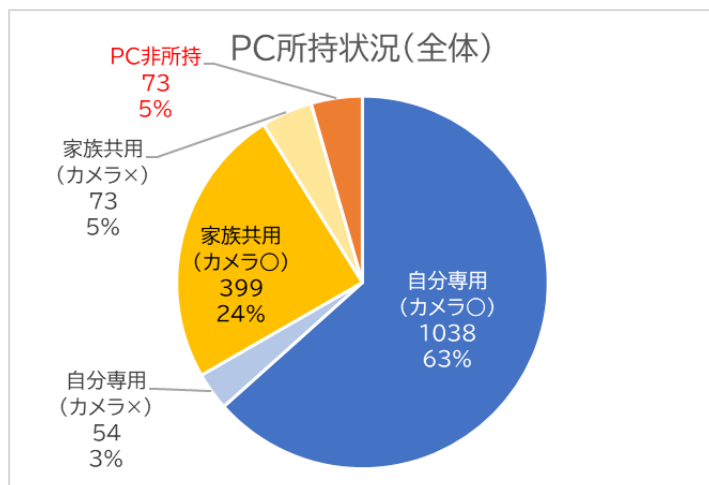
(未回答1名。)

「Zのみ問題」=同時双方向型のためのZOOMに問題がある)

学生の皆さんのご家庭および下宿におけるインターネットの回線状況については、90.9%が問題なしと答える一方で、9.1%はなんらかの点で問題があると答えました。このうち、すでに対策を済ませた学生がいる一方で、回線に問題があるためにオンライン授業を受けることそのものが困難であり、かつ対策が困難であると回答したのが25名、ZOOMのようなライブ型の授業を受ける際に困難があつて対策が難しいと回答したのが48名でした。これらに該当する学生については、③に記載している本学による環境支援対策により、必要な方にルーターの貸与によって支援をいたしました。

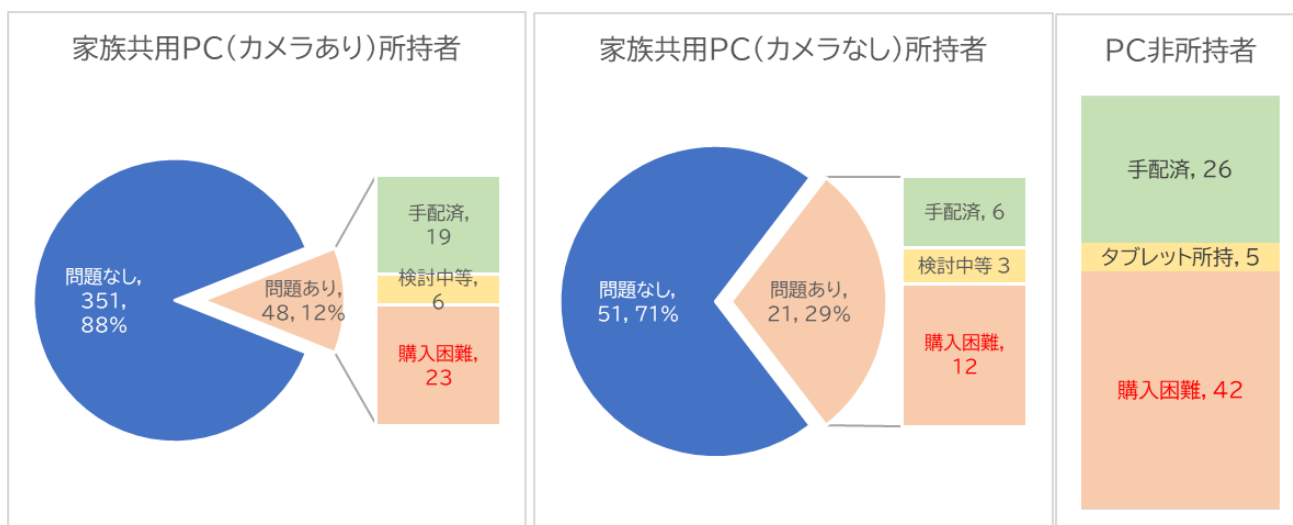
3. パソコンの所持状況に関する集計 (大学院生を含まない)

3-a パソコンの所持状況



遠隔授業に必要なパソコンの所持状況は上記のとおりでした。自分専用のパソコンを持っている学生が 66%。家族共有のパソコンを持っている学生が 29%。パソコンを持っていない学生が 5%という結果でした。

3-b 家族共有パソコンとパソコン非所有者の対応状況



家族と共有のパソコンを持っていると答えた学生に遠隔授業の受講に問題があるかどうかを尋ねたところ、問題がないという学生が大半でした。問題があると答えた学生は、カメラありのパソコンで 48.1%、カメラなしのパソコンで 21.3%でした。そのうち、新たに購入が困難だと答えたのは、カメラありが 23 名、カメラなしが 12 名でした。さらに、パソコンを持っていない学生で新たにパソコンの購入が困難だと答えたのは 42 名でした。これらの学生については、③の環境支援対策に記載されているように、貸与パソコンを貸与しました。

③ 機器環境整備支援についての報告

これまで二度にわけて機器環境支援を実施してきました。本学の基本的な支援の考え方は経済面で困窮している学生が学業を継続できるように「緊急性の高い学生から優先的に支援していく」ということです。このような考えのもと、1年間の特例措置として「特別給付及び貸与奨学金」制度などを設けてきましたが、オンライン授業に関する機器環境整備については、下記のように2回に分けて支援を実施しました。

【第1回目】

4月27日から 高等教育無償化対象学生へのPC貸与
貸与用のパソコンを本学で購入するとともに、高等教育無償化対象の学生全員に対して個別に聞き取り調査をしたうえで、希望した学生に36名に、パソコンを貸与しました。

【第2回目】

5月11日から、②の機器環境調査のデータを活用して、パソコンが入手困難な学生にパソコンを貸与しました。さらに、通信環境の整備が困難な人にルーターの貸与をしました。

<パソコンの貸与>

パソコンを手配できない91名の学生について申込者を募り、希望者39名にパソコンを貸与。また、モバイルWifiルーターの貸与の申し出時にパソコンが原因と判明した3名にパソコンを貸与。

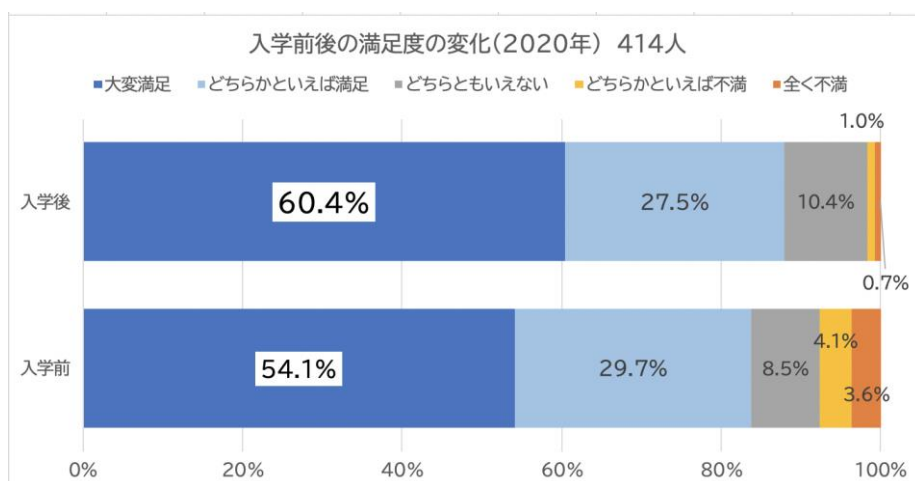
<モバイルWifiルーターの貸与>(大学院生を含む)

②の調査と後日の追加調査から通信環境整備が必要なことが明らかになった学生93名について連絡のうえ申込者を募り、申込者41名に順次貸与モバイルWifiルーターを発送。

④ 一年生満足度調査 (満足度の変化)

下記の調査結果にあるように、昨年度と比較して、本学に対する入学後の満足度が大きく伸びています。「大変満足+満足」が去年は 64.1%→75.6%だったのが、今年は 83.8%→87.9%となっており、「大変満足」だけを見ても、昨年は「大変満足」が 40.2%→41.2%と1%の増加にとどまっていたのが、今年は 54.1%→60.4%と 6.3%増えています。

4-1 入学前後の満足度の変化(2020年度)



4-2 入学前後の満足度の変化(2019年度)

